神戸老人ホームだより

創設 明治32年 想いを感じ、明日へつなぐ

社会福祉法人神戸老人ホーム　2026年7月1日発行

VOL. 11

令和８年度 入職式

神戸市民花壇

神戸老人ホーム耳寄りばなし

保育園児との交流会

ふらっと住良本町

わくわくウォークラリー

ごあいさつ

今、あらためて大切にしたいこと

社会福祉法人 神戸老人ホーム 理事長　河村　康正

今年も早いもので半年が過ぎました。穏やかに始まった令和８年でしたが、この半年を振り返りますと、社会全体では戦争や凶悪事件など、「いのち」の重みをあらためて考えさせられる出来事が続きました。介護という社会福祉の一端を担う私たちにとりましても、大変悲しく、深く考えさせられる日々であります。

社会では効率や利益を優先する風潮が強まっています。もちろん、進歩や効率化を追い求めることは大切ですが、今こそ一度立ち止まり、人間らしさや、人と人のつながりを見つめ直す必要があるのではないでしょうか。介護の仕事は、お一人おひとりの人生に寄り添い、その方らしい暮らしを支える仕事であることを、あらためて心に刻みたいと思っています。

また、感染症への不安も完全には解消されておりません。加えてこの夏は昨年以上の猛暑になるとの予測もあり、ご利用者の皆様の健康管理には一層の注意が必要です。バイタルチェックをはじめ、手洗いや消毒等の基本的な衛生管理を大切にしながら、安心して過ごしていただける環境づくりに努めてまいります。

さて令和７年度の決算発表がなされ、順調な結果を残すことができました。これもご利用者の皆様、ご家族の皆様、そして職員、関係者の皆様の支援あってのおかげと、心より感謝申し上げます。今後も施設環境や職員の労働環境の改善に努め、より安心で温かい施設づくりを進めてまいる所存でございます。

法人理念

友愛の心をもって　豊かな福祉を創造し、地域に貢献します。
友愛の心をもって　尊厳を守り、その人らしい暮らしを支援します。
友愛の心をもって　研鑽を積み、ともに幸せを追求します。

養護老人ホーム 住吉苑

住吉苑では、ご入居者の皆さまと共に、ガーデニングや小動物の飼育に励んでいます。庭には四季折々の花が咲き、カメやカエル、カブトムシたちが元気に過ごしています。

日々の中で、植物や野菜が実る喜びを共に分かち合う一方で、小さな命が尽きる悲しみに共に涙することもあります。しかし、そこからまた新しい命が誕生する瞬間の感動は、何物にも代えがたいものです。こうした「命の循環」を間近に感じることは、私たち職員にとっても、ご入居者にとっても、日々の生活に深い彩りと潤いを与えてくれています。

また、私たちはこの活動を地域へ広げる一環として、大切に育てたカブトムシの譲渡会を開催しています。近隣の保育園児や子どもたちが施設を訪れ、ご入居者の皆さまと笑顔で交流する姿は、私たちの理想とする「地域に開かれた交流の場」そのものです。

これからも、花や生き物たちが繋ぐ温かなご縁を大切に、誰もが気軽に立ち寄れる、笑顔あふれる施設づくりを続けてまいります。ぜひ一度、私たちの賑やかなお庭を覗きに来てください。

（介護リーダー 松下 泰之）

住吉北部あんしんすこやかセンター
御影北部あんしんすこやかセンター

あんしんすこやかセンター

あんしんすこやかセンターは、神戸市が設置した高齢者に関する介護相談窓口で、お住まいの地域によって担当が定められています。住吉北部あんしんすこやかセンターは、住吉本町、住吉山手、住吉台、渦森台地区にお住まいの方、御影北部あんしんすこやかセンターは、御影郡家１・2丁目、御影1～３丁目、御影山手、鴨子ヶ原地区にお住まいの方を対象にしています。

介護相談の具体的な例としては、高齢者やご家族の方々から、「介護保険を使うにはどうしたらよいの？認知症の相談がしたい。消費者被害にあったのでは？　もっと元気で過ごすためにどうしたら・・？」があります。また、市民の皆様方からは、「新聞がたまっている。最近姿をみかけない。一人暮らしが大変そう、大きな声で高齢者を怒鳴る声が聞こえる」などご近所で気がかりな高齢者の相談があります。

あんしんすこやかセンター職員は、みんなで高齢者が暮らしやすいまちを目指して、社会福祉士、主任ケアマネジャー、保健師等の保健医療・福祉・介護の専門職ですので、お気軽に相談ください。

（統括所長　伊賀 浩樹）

第11回わくわくウォークラリー

たくさんのご参加ありがとうございました！

３月30日から４月13日までの２週間「第11回わくわくウォークラリー」を開催しました。地域の皆さんのフレイル予防としての企画でしたが、たくさんのご参加ありがとうございました。次回第12回は10月12日～２週間の開催予定です。是非ご参加ください。　（法人企画部）

特別養護老人ホーム 光明苑

ひな祭りの行事として、光明苑では「ガチャガチャゲーム」を開催しました。会場には色とりどりのカプセルをご用意し、中にはお菓子や小物、当たり券などを入れ、選ぶ楽しみと開ける喜びを感じていただける内容としました。ご入居者の皆様は順番にカプセルを拾って、「何が出るかな」と期待を寄せながら参加され、カプセルを開けた瞬間には笑顔や拍手が広がりました。掲載の写真からも、嬉しそうな表情や和やかな雰囲気がうかがえます。自然と会話も生まれ、交流の機会にもつながりました。季節感を味わいながら、心身の活性化を図るひとときとなりました。今後も皆様に楽しんでいただける行事を企画してまいります。

（生活相談員 課長　越智 皇輔）

特別養護老人ホーム光明苑において、公益財団法人 JKA 様より、2025年度の福祉機器の整備に関する補助金（競輪）の採択をいただき、酒井医療株式会社の入浴機器「ライラックプラス」を導入させて頂きました。より多くのご入居者に快適で安全な入浴のケアが提供できるよう、大切に使用させていただきます。

デイサービス やまびこ

3月・4月にわたり、ひな祭りやお花見など春のイベントを開催いたしました。苑内にはご利用者や職員の笑顔や笑い声が響き渡り、とても有意義なひとときとなりました。

デイサービスやまびこは、ただ通う場所ではなく、「できる」を取り戻す場所です。そして、『毎日通いたくなるデイサービス』を目標としています。立つ・歩く・食べるといった日常動作を、機能訓練と生活支援の両面から無理なくサポートし、小さな変化を積み重ねてご利用者の自信につなげていきます。入浴や食事、音楽の生演奏やレクリエーションのすべての時間に楽しさと意味を持たせ、自然と笑顔が生まれる、そんな場所になるよう職員一丸となって取り組んでいます。

「寂しいという言葉を聞かなくなった」「外に出るのが楽しみになった」「人と話すのがうれしい」――ご利用者やご家族のそんなお声や笑顔が、私たちの何よりの成果です。

見学・体験利用は随時受け付けています。デイサービスやまびこで第2の青春を送ってみませんか。

（生活相談員　丸野 大輔）

特別養護老人ホーム 友愛苑

こんにちは特別養護老人ホーム友愛苑です。友愛苑は令和８年も獅子舞から始まり、２月は節分で鬼退治、３月の雛祭りでは地域の方よりご寄贈いただいた雛人形を飾らせていただきました。２月25日には恒例の初釜を開催し、お抹茶を点てて、練り切りを楽しんでいただきました。４月８日のお釈迦様の誕生日は甘露の雨が降った言い伝えにちなみ、甘茶を注いで一緒にお祝いしました。

友愛苑の桜が賑わいを見せる中、今年度は新卒職員１名とインドネシア特定技能２名の介護職員を迎え入れております。引き続き、職員が一丸となってご入居者や地域の皆さまに楽しんでいただける施設を目指し、日々精進してまいりますので、何卒よろしくお願いいたします。

（友愛苑介護課長　田原 洸太）

デイサービス こだま

この度、介護係長を拝命いたしました柴田利佳です。

私はこれまで「ケアハウスゆうあい」での３年間、その後「デイサービスこだま」での７年間、介護リーダーとして皆様と共に歩んでまいりました。この経験を糧に、今後も一人ひとりに寄り添った魅力ある施設づくりに努めてまいります。

デイサービスでは、「歩ける」喜びをその先の「楽しみ」へつなげられるよう、一貫したサポートを大切にしています。機能訓練士によるアセスメントに基づいた個別機能訓練を行い、苑内での歩行訓練から苑外歩行へ、そして外出行事へとつなげています。昨年夏には、運動後の“かき氷”や「カフェ・アイスツアー」を実施し、大変好評をいただきました。そしてこの度、念願であった回転寿司への外出レクリエーションも再開いたします。

また、管理栄養士による季節のおやつレクや、書道・カラオケ・麻雀など、これまで親しまれていた趣味を楽しめる環境づくりにも力を入れています。

地域の皆様や他部署との連携に支えられ、「楽しく活気がある」「安心できる」とのお言葉も多くいただいております。今後も、誰もが「また来たい」と思える施設を目指し、スタッフ一丸となって取り組んでまいります。今後とも変わらぬご支援とご愛顧を心よりお願い申し上げます。

（介護係長　柴田 利佳）

特別養護老人ホーム かもこの風

かもこの風では、季節の節目を大切にした取り組みを大切にし、２月に節分の豆まき行事を行いました。当日は、年男の職員２名が鬼役となって登場。入居者の皆さんは新聞紙で作ったボールを手に、「鬼は外、福は内」と元気な掛け声とともに鬼に向かって投げ、会場には笑い声が広がりました。

また、職員手作りの段ボール製の鬼の的当ても用意し、「入った！」とうれしそうな声が上がる場面もみられました。鬼役を務めた職員からは「正直痛いくらいでしたが（笑）、それだけ楽しんでいただけて嬉しかったです」との声も聞かれました。

さらに、年男・年女のご入居者の方々には袴の上衣を羽織っていただき、お祝いの時間を設けました。少し特別な装いに、会場は温かい雰囲気に包まれていました。

かもこの風は、節分以外にも季節ごとの行事を大切にしながら、ここで過ごす日々が、人生のひとときを安心して心豊かに過ごしていただける時間となるよう取り組んでいます。

（看護係長　井上 仁美）

ケアハウス ゆうあい

ケアハウスゆうあいでは、今年も恒例の初詣に行ってきました。

当日はお天気にも恵まれ、出発前から「やっぱり日頃の行いがいいからやろうなあ」とのご入居者の声に、職員もそろって「間違いない！」と即答。そんな、いつもの変わらない感じの掛け合いの中、元気いっぱいに出発です。

東灘区には立派な神社がたくさんありますが、今年は住吉神社をチョイスしました。到着後は、「今年も健康で過ごせますように」「美味しいものをたくさん食べられますように」など、それぞれの願いを込めて手を合わせました。中には「もっと若返りますように！」と気持ちのこもったお願いもあり、「それは大事やね～」なんて声も上がりながら、あたりはほっこりとしたムードに包まれました。

おみくじでは、今年の運勢を占う方や、去年の借りを返そうとする方などさまざま！「今年は大吉やった」「まあまあやったなあ」と結果に一喜一憂しながら、「今年もぼちぼちいこうか」と自然と会話も弾みます。また当日は、他の施設の参拝客の方々とも遭遇。お互いに「どうぞどうぞ」と譲り合いながら、自然と会話も生まれ、和気あいあいとした雰囲気が広がっていました。帰り道には「今年は遠足どこ行くの？」と、早くも次の楽しみの話で盛り上がる場面も見られました。

こうして、笑顔と笑い声に包まれた初詣から2026年が元気にスタート！「私たちらしさ」全開で、皆さんと一緒に楽しく、にぎやかに過ごしていきたいと思います。

（施設長　朝木 俊介）

法人事業紹介

●養護老人ホーム 住吉苑
●特別養護老人ホーム 光明苑
●デイサービス やまびこ
●住吉訪問介護センター
●住吉高齢者生活支援センター
〒658-0051 神戸市東灘区住吉本町3丁目7-41
TEL (078) 851-2560
FAX (078) 851-1449

●住吉北部あんしんすこやかセンター
〒658-0051 神戸市東灘区住吉本町3丁目7-41
TEL (078) 851-1155
FAX (078) 851-1157

●住吉定期巡回・随時対応型訪問介護看護センター
●住吉夜間対応型訪問介護センター
〒658-0051 神戸市東灘区住吉本町3丁目7-41
TEL (078) 851-5050
FAX (078) 851-1449

Instagram X(旧 Twitter)

●特別養護老人ホーム 友愛苑
●デイサービス こだま
〒658-0064 神戸市東灘区鴨子ヶ原2丁目14-17
TEL (078) 845-3660
FAX (078) 845-3661

●友愛高齢者生活支援センター
〒658-0064 神戸市東灘区鴨子ヶ原2丁目14-17
TEL (078) 846-1580
FAX (078) 843-2208

●御影北部あんしんすこやかセンター
〒658-0064 神戸市東灘区鴨子ヶ原2丁目14-17
TEL (078) 843-2207
FAX (078) 843-2208

●ケアハウス ゆうあい
〒658-0064 神戸市東灘区鴨子ヶ原2丁目14-19
TEL (078) 843-2712
FAX (078) 843-2713

●特別養護老人ホーム かもこの風
〒658-0064 神戸市東灘区鴨子ヶ原3丁目19-30
TEL (078) 858-5070
FAX (078) 858-5071

社会福祉法人 神戸老人ホーム 法人本部

創設 明治32年

〒658-0051 神戸市東灘区住吉本町3丁目7-41
TEL.(078) 851-2560 FAX.(078) 851-1449
http://www.krh-sumiyoshi.com

神戸老人ホーム「耳寄りばなし」

介護や福祉にまつわる
あんな話やこんな話、聞いてみませんか！

第1回 日 時：6月25日(木) 開催済
場 所：かもこの風 会議室
テーマ：特殊詐欺について
講 師：東灘警察 生活安全課

第2回 日 時：12月24日(木) 13：30～
場 所：友愛苑 会議室
テーマ：未定
講 師：未定

友愛苑 夏祭りのご案内

日時：8月22日(土) 16：30～
場所：神戸老人ホーム 友愛苑

恒例の盆踊りに各種屋台、むつみ地蔵盆も行います。
地域の方のご参加をお待ちいたしております。 (友愛苑夏祭り実行委員会)

編集後記

新年度が始まり、気がつけばもう3か月が過ぎました。
日々の業務の中で立ち止まると、小さな気づきが心に残る季節です。理事長のあいさつにもあったように、今年前半は社会全体で「いのち」について考えさせられる出来事が続きました。忙しさの中で、私たちもつい“段取り”や“結果”ばかりに気を取られてしまうことがあります。けれど、利用者の方の何気ない言葉や、職員同士のさりげない気づかいに触れると、はっと我に返る瞬間があります。

ロボットやAIが正確に動く時代になっても、私たちの現場は人の気配や思いで成り立っています。そこに、私たちが大切にしたい“正しさ”があるのだと思います。

人がもつあたたかさを胸に、今年度も一歩ずつ歩みを重ねていきたいと思います。 (友愛苑 副施設長 鎌田 俊一)